

2010年9月25日、第6回エコツーリズム大賞・特別賞を受賞いたしました。
みなさまからのご支援に心より感謝申し上げます！ 詳細は次号に掲載いたします。

霧ヶ峰基金会報

2010年10・11月号（通算38号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactory2 階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



夕暮れと、ひとり。

一時期、ひたすら夕日を眺めたくて、時間を見つけては車山肩に通っていたことがありました。少しずつ太陽が西に傾き、遠くの山にかかり空は赤みを帯びて、やがて紺色になり闇になっていく。刻々と変わっていく色がたまらなく好きでした。

11月のはじめ、ちょうど御嶽山が王冠を戴くように太陽が沈みます。

夕暮れの人けのない草原で、太陽の傾きとともに冷えていく空気を頬に感じながら、息をひそめて、自分も闇に融けていくような時間の心地よさは、何度でも感じたい秋限定の楽しみかたです。

信州諏訪温泉泊覧会 ズーラ



諏訪地方の魅力をたくさん詰め込んだプログラム満載の「ズーラ」。

3回目を迎え、今年は77のプログラムが開催されます。

霧ヶ峰基金でも、霧ヶ峰高原の魅力を新しい視点からゆったり味わうためのプログラムをご用意してたくさんのかたのご参加をお待ちしています。

★プログラム番号 10-0059

晩秋の霧ヶ峰・光を感じる草原さんぽ

霧ヶ峰高原・車山肩の「ころぼっくるひゅって」にお泊りしながら、夕陽と朝日を味わう極上ツアーです。

晩ごはんは、「ころぼっくる・ひゅって」2代目・手塚貴峰さんが腕をふるう山小屋ゴハンです！

・開催日 2010年10月16日(土)~17日(日)

・参加料金 12,000円(1泊2日2食付)

★プログラム番号 10-0051

“草原のかけハシ”づくり



草原を守るために伐採された木でお箸を作ります。作ったお箸は、専用ケースに入れてお持ち帰りできます。ティータイムはケーキとコーヒーでひとやすみ。

・開催日 2010年11月7日(土)

・参加料金 3,000円

プログラム参加申し込み・お問い合わせ先

信州諏訪温泉泊覧会「ズーラ」実行委員会

(株) 日報ツーリスト内ズーラ受付窓口

TEL 0266-57-2600 (営業時間 10:00~17:00)



活動記録 (2010年7月1日~8月31日)

| | | |
|----|-----|------------------------|
| 7月 | 7日 | ・オリジナルポストカード リニューアル |
| | 10日 | ・モニタリング調査(植物相) |
| | 26日 | ・会報2010年8・9月号 発行 |
| 8月 | 7日 | ・モニタリング調査(水環境) |
| | 21日 | ・モニタリング調査(植物相) |
| | 27日 | ・上桑原牧野農業協同組合主催 御射山祭 参列 |
| | 28日 | ・諏訪五蔵 霧ヶ峰福ひろいウォーク(ガイド) |
| | 30日 | ・信州諏訪温泉泊覧会「ズーラ」連絡会出席 |

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。

全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。(手数料はご負担ねがいます。)

・口座番号 00520-7-44684

・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

※ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。(お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください)

酒蔵さんと一緒に「霧ヶ峰・福ひろいウォーク」

諏訪市内の造り酒屋さんのグループ「諏訪五蔵」の皆さんとの“福ひろい”も、はや3年目。毎回お手伝いをさせていただいています。

「酒屋の仕込み水の水源地・霧ヶ峰で酒屋のできることはないだろうか」と始められた五蔵のみなさまの取り組みも、今回で4回を数えました。

例年6月頃に歩く予定ですが、今年の諏訪地方は御柱祭一色！諏訪大社の祭りが終わっても、地区の神社から始まり、果ては裏路地の小さな祠にまで柱を建てるのです。



そんな祭りの忙しい合い間を縫って、今回の参加者の皆さん&ガイドスタッフ。

この「福ひろい」はゴミを「福」と称して登山道を歩きながら、落ちていたゴミを拾いつつ、霧ヶ峰高原の

自然に触れることが目的です。

8月28日、お天気にも恵まれ、今年も2コースに分かれて、登山道のゴミ（…いえいえ「福」）を拾い歩きました。

霧ヶ峰は夏の間、いろいろな方がこぞってゴミを捨てるので、拍子抜けするくらい登山道はキレイ。



全部集めてもこのくらい。

それは素晴らしいことなのですが、それでも悲しいかな、大人だけが呑む飲み物の空き缶がちらほら…。しかも真新しくて…。

大人のマナーアップ！が、まず必要な気がします。

（担当：降旗香代子）



モニタリング調査 短信

夏のモニタリング調査は早朝から開始します。

朝4:30に集合し、簡単に打ち合わせを行い5:00ころには開始します。それは、日中の暑さを避けること、そして狭い木道上で調査を行うため、散策する人の妨げにならないように、私たちは早起きをして現地に向かいます。

調査は八島ヶ原湿原を右まわりと左回りをする2つのコースに分かれて行います。

調査区間は湿原の縁なのか植林地なのか、牧草地なのか二次草原なのか等の特徴ごとに13の区に分けています。

8月半ばの霧ヶ峰高原は秋の入り口に差し掛かり、夏と秋の二つの季節の花が観察できます。

特に御射山は湿地や草原に加え社叢もある複雑で繊細な環境も手伝って、いつ調査しても対象種（つぼみ・花・種のある草本）の数が豊富で、御射山でしか確認できない種もいくつかあります。

8月は御射山で38種の対象種が確認できました。

この多様さは御射山を訪れる楽しみにもなっています。

調査をしていると、多様な環境がパッチ状に合わさって草原景観を形成していることを強く実感します。

（担当：降旗香代子）



今年のニッコウキスゲ

昨年は会報でご報告いたしましたが、車山肩のニッコウキスゲの群生は見事なものでした。

しかし、今年は極端に花が少なかったのです。春先の天候不順、開花前の多雨と日照不足、二ホンジカの被食、高茎植物の増加等様々な原因が挙げられます。

そんな中、車山肩を訪れる方に「今年は裏年ですか」聞かれました。

なるほど、長い人生を送る人間には「表と裏」、「晴れと曇」があります。植物の開花や結実にも波があり、裏年に相当する年があります。しかし、植物は自ら語るといことはしませんから、その原因は人間がモニタリングしていかなければなりません。

今回の原因は明確には断定できませんが、どうあれ今年は裏年。

見事な開花はあせらず、今後に期待しましょう。

そんな中、私がモニタリング調査で発見したものが、下の写真のニッコウキスゲです（撮影は2010年7月18日）。



普通は多くて6個の花つけるところ、なんと11個の花をつけるスーパーニッコウキスゲです。（略してSNKとしましょうか）

「これだけ頑張っているから、見てくれ」と声ならぬ声をあげ、まるで仲間の分まで咲こうとしているかのように見えます。

このSNKは天候不順、二ホンジカの被食、草原の植生の変化等の中、霧ヶ峰で生き残るために必死に進化している結果なのではないでしょうか。なにかの変化の兆しかもしれません。

写真撮影と合わせ、生育地の座標をGPSで確認しておきました。来年、再来年とどんな花をつけるか見守りたいと思います。



8月27日には旧御射山祭が執り行われました。今年も上桑原牧野協働組合さまからのご招待をいただき、例祭に参列いたしました。



今回はオリジナルポストカードを奉納するとともに、来年はいろいろな花がたくさん咲くことを強く祈念して参りました。

（小原宏文）



編集後記

秋は日本酒のとってもおいしい季節です。

9月の「ひやおろし解禁！」に始まって 10月9日の「上諏訪街道呑み歩き」、そして11月は新酒の季節！あぁ、熱燗もおいしくなりますね。わくわくします。

この恵みも、大好きな霧ヶ峰があるからこそ！草原の恵みに、今日もかんぱ〜い♪(カ)

次号会報 2010年12月・2011年1月号は2010年11月下旬ころ発行予定です。